

## 学会記事

第5回学会大会以降の学会の動向についてご報告いたします。

### (1) 事務局体制の充実

事務局体制の充実を図るために、専従の事務局員を置くことになりました。それに伴い「ことづけ電話」を開設しました。事務局の場所は、これまで通り青山学院大学の稲生研究室ですが、学会への問い合わせは、ことづけ電話かまたは郵便をご利用ください。

### (2) 理事会の報告

11月29日(金)に全国理事会を開催し、年次総会の議案等について審議しました。また関東在住の理事による常任理事会を、定期的に青山学院大学で開催してきました。11月9日(土)の常任理事会で通算44回となりました。

第39回—1月7日(月), 第40回—4月5日(金), 第41回—5月10日(金),  
第42回—7月1日(月), 第43回—9月5日(木), 第44回—11月9日(土)

第39回の常任理事会では第5回学会大会の反省を行い、以後、年報第6号の内容、第6回学会大会のシンポジウム・課題研究のテーマなど研究活動に関する問題や、学会運営上の諸問題について協議してきました。

### (3) 第6回学会大会の開催

11月29日(金), 30日(土)の2日間、国立オリンピック記念青少年総合センター(東京・渋谷区)で開催。シンポジウムと課題研究のテーマは、研究部会に則して、次のように設けました。

シンポジウム 生涯教育の推進システム

課題研究Ⅰ 男子成人教育の課題

課題研究Ⅱ ニュースメディアと生涯教育の課題

研究発表の件数も年々増えており、今回は課題研究8件、自由研究22件の発表がありました。

#### (4) 年報第6号の刊行

特集テーマ「生涯教育の推進システム」。学会大会時に刊行。なお、年報第1号～3号はすべて売切れ、4号、5号も残部はごくわずかとなりました。

#### (5) 研究会の開催

昨年度発足した研究部会の研究会がスタートしました。研究部会は、生涯学習部会、生涯システム部会、学習情報・相談部会、企業部会から構成されていますが、現在のところ研究会は4部会合同で、関東地区を中心に行われています。今後は、研究会活動を一層充実し、研究成果を蓄積して、学会大会のシンポジウムや課題研究等で公表していきたいと考えています。

これまで行われた研究会は次のとおりです。

第1回 3月25日(月) 於青山学院大学

発表者 村田文生氏(埼玉県教育局)

テーマ 埼玉県の生涯教育推進施策について

第2回 5月9日(木) 於青山学院大学

発表者 水谷修(筑波大学), 成田直子(青山学院大学大学院)

テーマ 都道府県および市区町村の生涯教育調査

第3回 5月23日(木) 於青山学院大学

発表者 平沢茂(亜細亜大学), 蛭田道春(国立社会教育研修所)

テーマ 学習情報のデリバリーシステム

第4回 6月21日(金) 於青山学院大学

発表者 太憲一(麒麟麦酒株式会社)

テーマ 生涯教育の観点からみた今後の企業内教育のあり方について

なお、北海道地区や九州地区においても、会員の研究会活動が行われています。

#### (6) 生涯教育類型研究会の研究活動終了

昭和57年度から、文部省科学研究費助成金の交付を受けてすすめてきた生涯教育類型研究会の「日本の生涯教育実践の類型化に関する実証的研究」がひとまず終了しました。研究の成果は、すでに年報や学会大会において発表されていますが、次のような報告書としてもまとめられています。

「都道府県の生涯教育調査」, 「市区町村の生涯教育調査」, 「企業における生

生涯教育及び民間学習機関の生涯教育に関する調査」

(7) 生涯教育対策実践シリーズの刊行

岡本包治（立教大学）、山本恒夫（筑波大学）編の「生涯教育対策実践シリーズ〈全5巻〉」（ぎょうせい）を4月より順次刊行。本シリーズは、生涯教育類型研究会の研究成果を中核とし、執筆陣の大部分を学会の会員で占めるなど、学会設立5周年を記念する意味をこめて企画されたものです。

(8) 学会だよりの発行

学会だよりを20号までお届けしました。各委員会（研究委員会、年報編集委員会、総務委員会、企業における生涯教育特別検討委員会）の報告、事務局からのお知らせ、研究部会や各地区の研究会活動の報告、寄贈資料の紹介、新入会員の紹介、会員の移動などを掲載しています。

(9) 会員名簿の発行

1985年9月20日現在で発行。

(10) 会員数の動向

会員は年々増加していますが、9月現在で460名となりました。

（1980年11月現在116名、1981年11月現在277名、1982年10月現在322名、1983年9月現在374名、1984年11月現在413名）

(11) 日本学術会議登録団体となる。

（文責・水谷 修）

## 古賀寿理事を悼む

岡本包治

日本生涯教育学会の全会員に悲しいお知らせをしなければなりません。本学会常任理事の古賀寿さんが1月17日に死去されたのです。どんなに泣いても涙はつきません。

古賀さんは本学会が発足するずっと以前から、マス・コミ人としてのとぎすまされた眼で生涯教育の重要性を機会あるごとに主張されていました。大学で教育学を専攻され、すぐに日本放送にディレクターとして入社され、その後日本放送の解説委員として常にラジオで「人間らしさ」を説いてられたあの声が現在でも印象的です。その後テレビ東京でも多くの後輩ディレクターに尊敬され「古賀学校」を卒業したマス・コミ人は無数に及びます。本学会の設立に参画され、学会とマス・コミとに強いきずなを作って下さった人です。

古賀寿さん、ありがとう。日本生涯教育学会の全員は、あなたのご遺志を受け継いで活動して参ります。